

# ネオロータフェンス忍び付 NER-1型

# 組立説明書

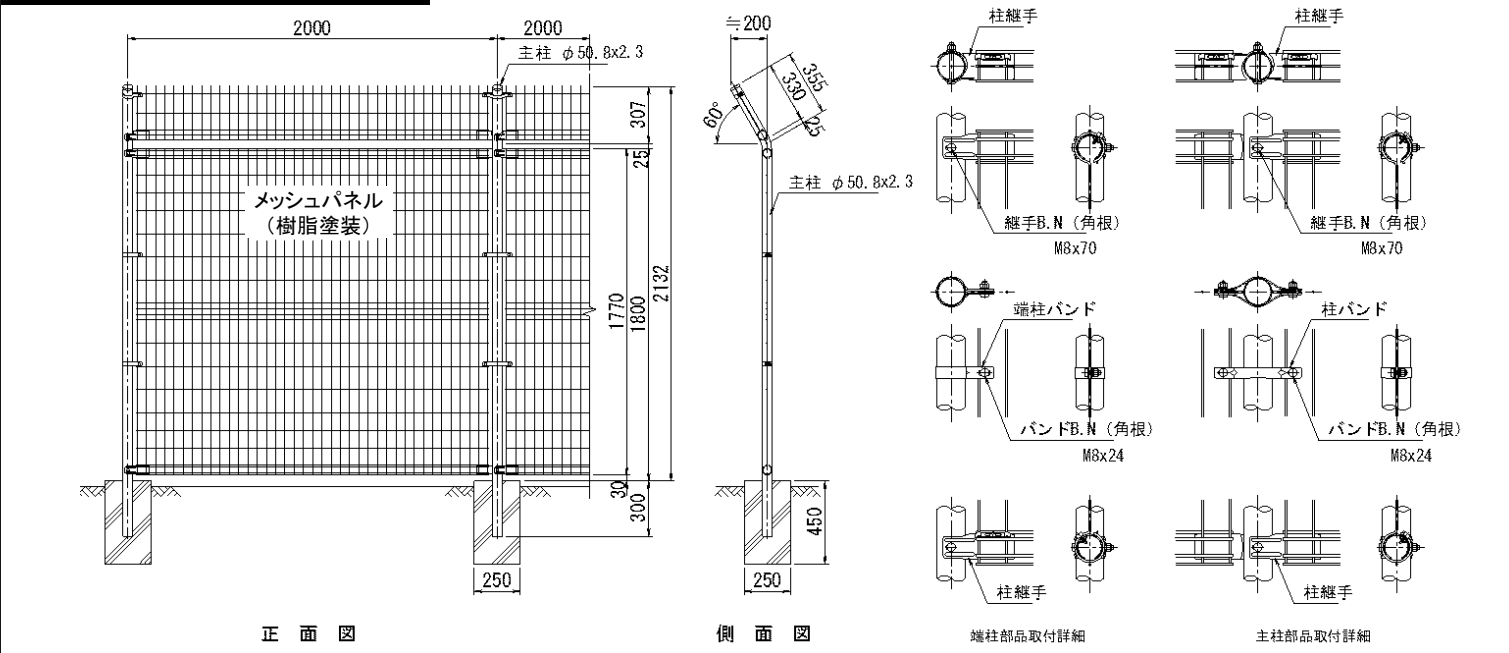
## ① 柱の位置を決め、基礎を設置します。

- 柱間隔は柱芯々 2,000 mmピッチで割付けてください。
- 通り芯を正確に出してください。

高さ	B 支柱埋込長	網目	基礎寸法 G1×G2×G3
H1500	300	50目	□180×180×450
H1800	300		□250×250×450
H2000	300		□250×250×500
H1500	300	40目	□200×200×450
H1800	300		□250×250×500
H2000	300		□300×300×500

※H1500,H1800はφ50.8×2.3、  
H2000はφ60.5×2.3となります。

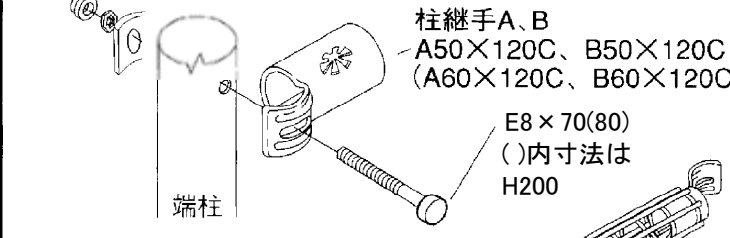
## NER-1型姿図 (H1800)



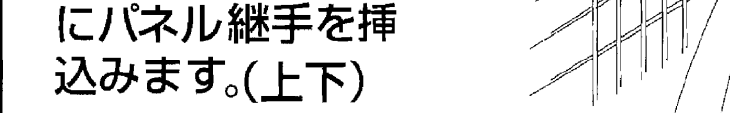
## ② 柱を建てます。

- 隅柱は軸芯より45° (90°)振り向けて設置してください。(隅部参照)

## ③ 柱継手を端柱に取付けます。(上下)

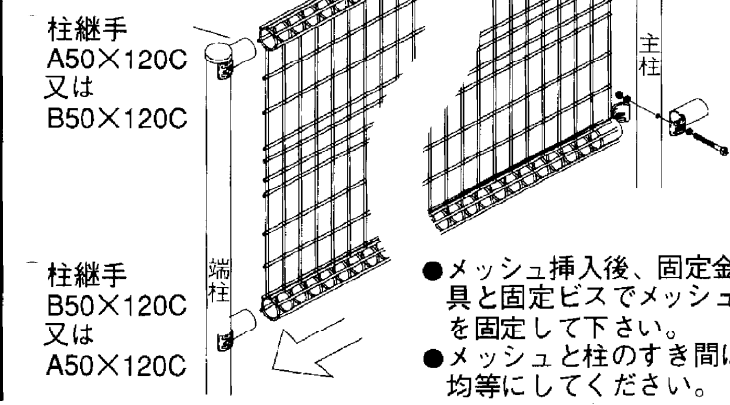


## ④ メッシュパネルの支柱側にパネル継手を挿込みます。(上下)

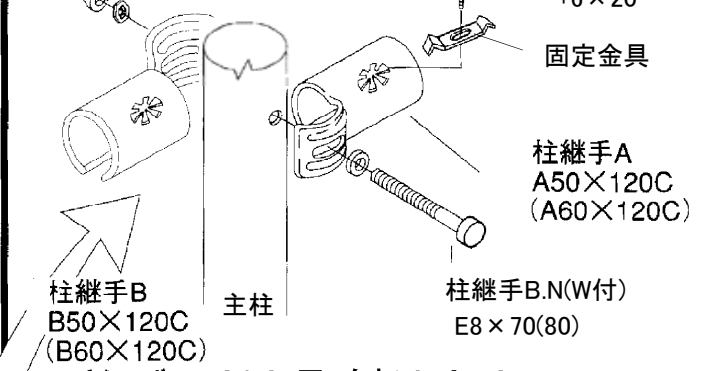


## ⑤ メッシュパネルを取付けます。

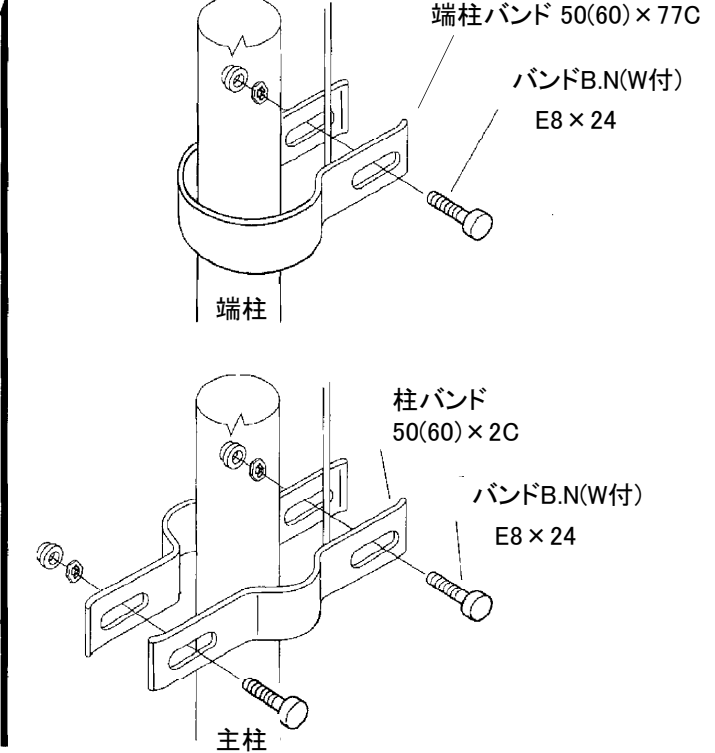
- 端柱の継手にパネルを挿込みます。



## ● 支柱側の柱継手を取付けます。

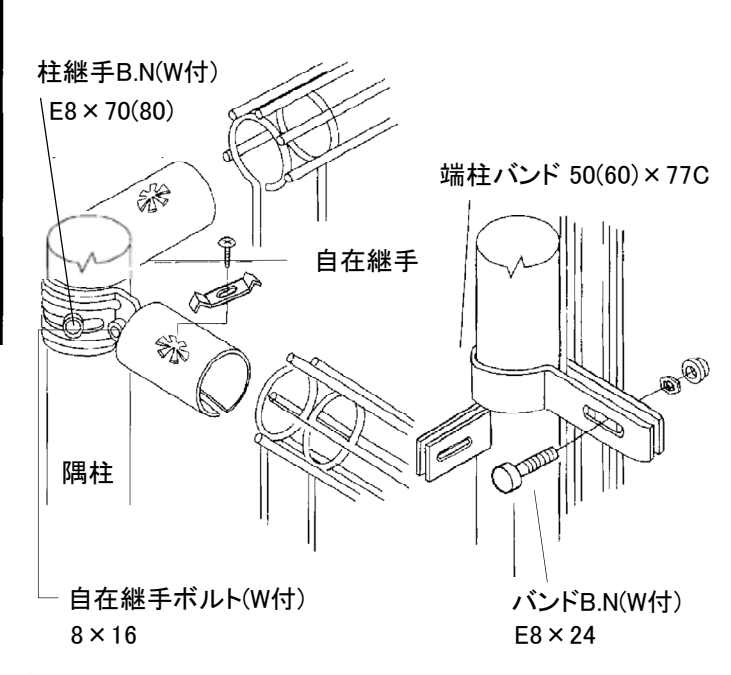


## ⑥ 柱バンドを取付けます。

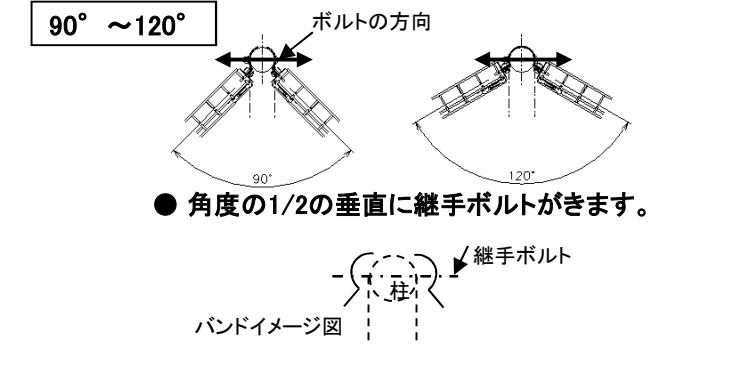


## 隅部

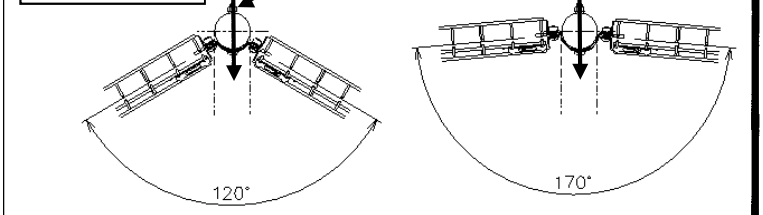
- 自在継手をフェンスの曲がる方向に取付けます。(上下)



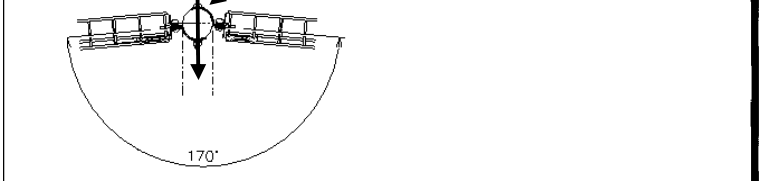
## 角度毎の継手取付の向き



## ● 角度の1/2に継手ボルトがきます。

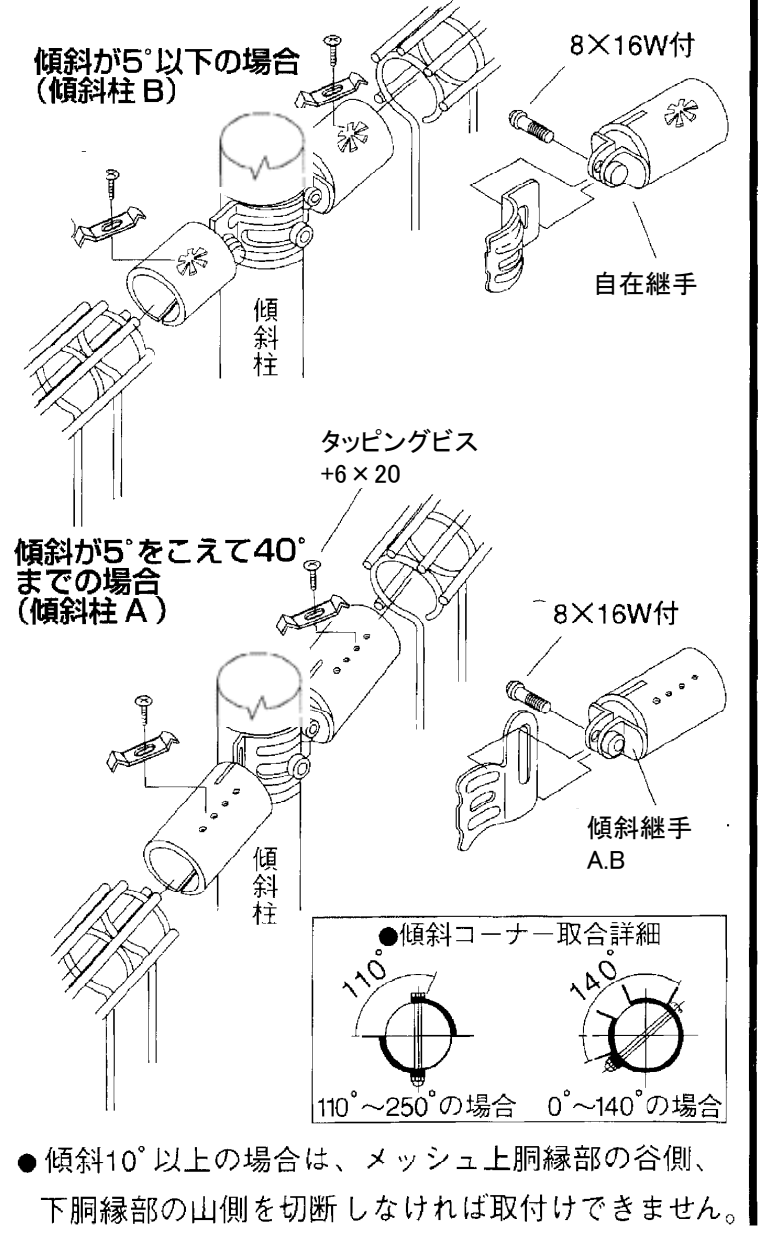


## ● 傾斜自在継手を取付けます。(上下)



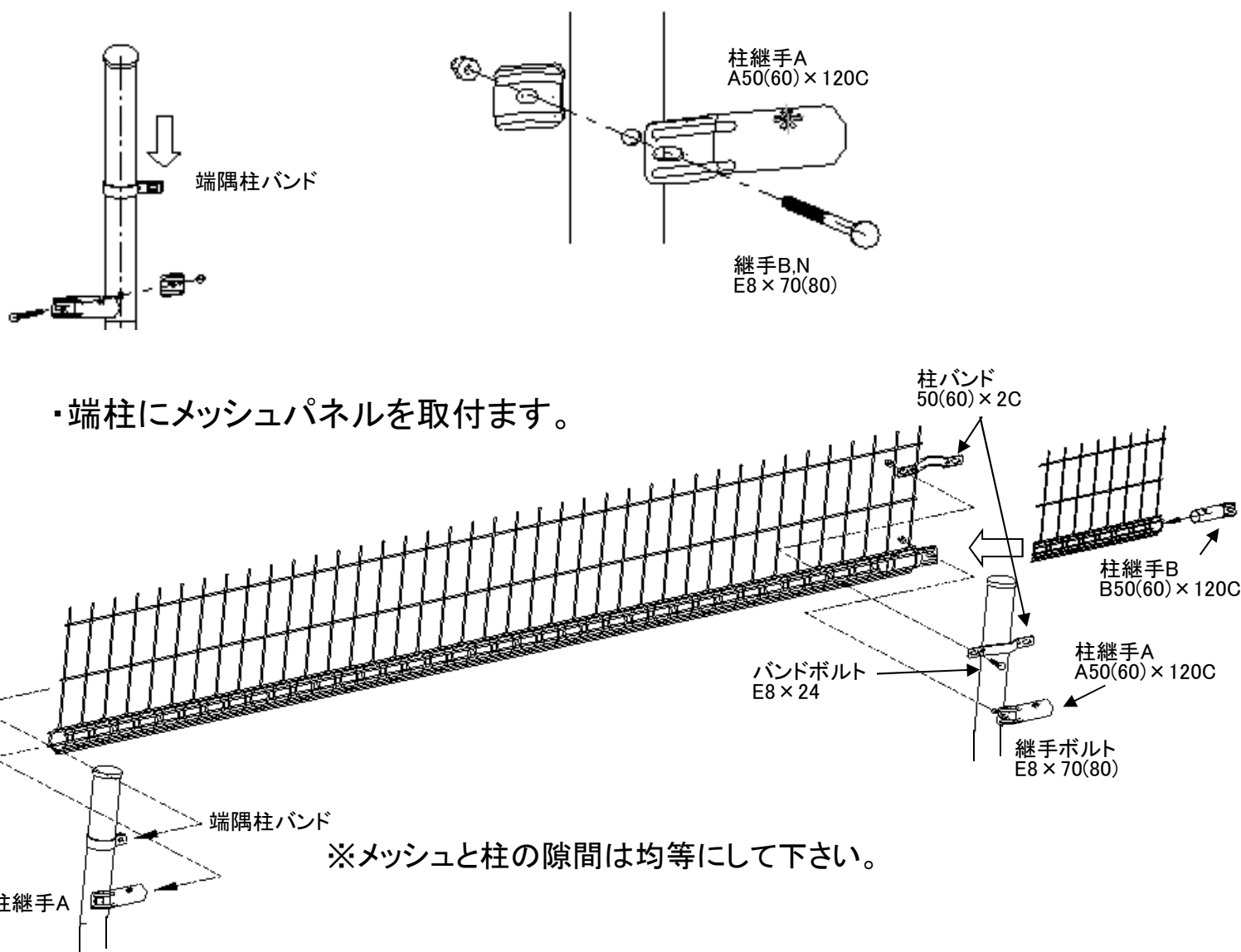
## 傾斜部

- 傾斜自在継手を取付けます。(上下)



## 忍び部のメッシュの取付

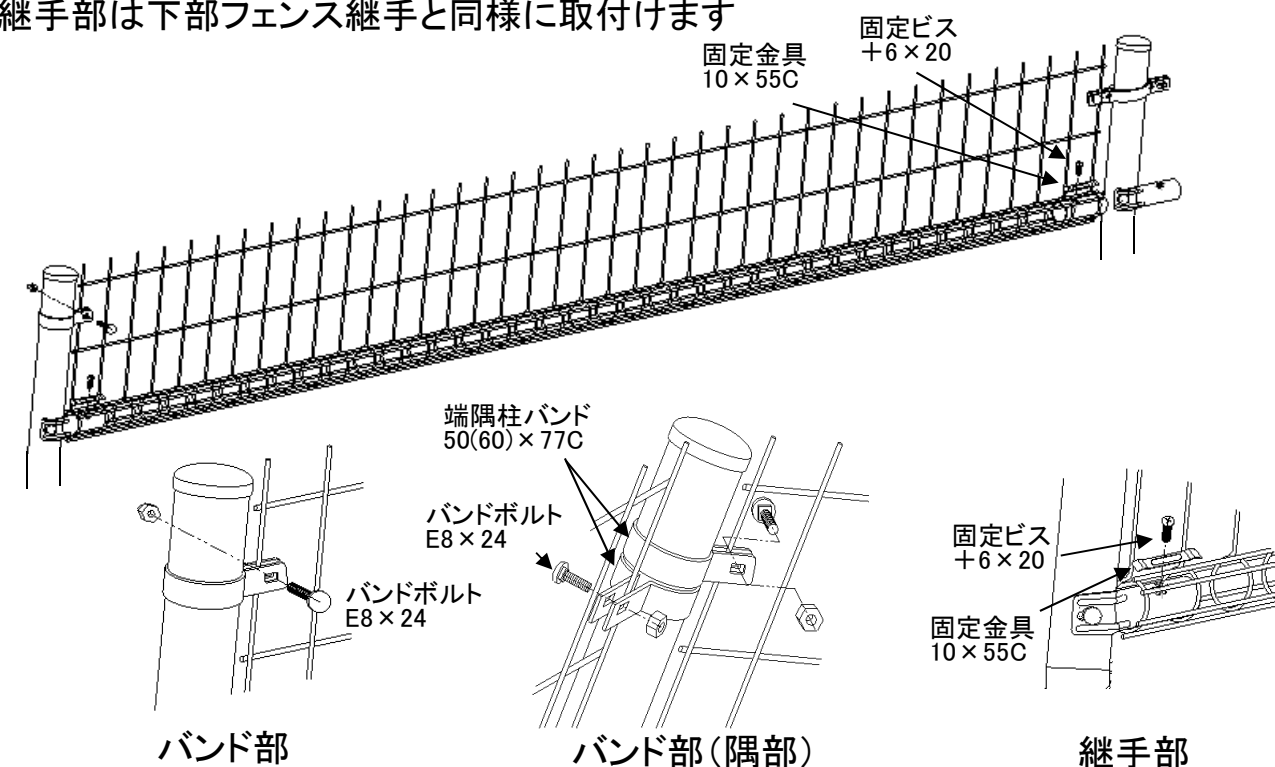
- 端柱にメッシュ用継手・端隅柱バンドを取付ます。
- 柱継手をボルトで取付、端隅柱バンドを柱上端より挿入します。



- 継手Bを挿入したメッシュパネルを端柱の継手Aに挿入します。その際、端隅バンドがメッシュパネルを挟み込むようにします。
- その後、主柱を挟み込むように柱継手Aと柱継手Bをボルト締めします。
- 主柱のバンドをメッシュ側のみボルト締めします。

隅部でメッシュ同士が干渉する場合は角度に合わせてメッシュを切断して下さい  
切断部はバリを取り、補修塗料(タッチアップ)で補修して下さい

- 端柱バンドをボルト締めします。
- メッシュパネルを継手に固定金具、固定ビスで固定します。
- 各継手部は下部フェンス継手と同様に取付けます



⚠ 注意

## ● 施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

## ● 取扱い注意点

- ①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。